

うっしっしいー情報2013

12月市



豊岡農業改良普及センター

12月11日に行われましたセリ市全体の平均価格は、去勢が62万5千円、雌が55万4千円でした。

普及センター調べ（税込価格）

（本人落としも含むため、JA公表数値とは異なります）

| 地域 | 去勢 | | | 雌 | | | 総計 | |
|-------|-----|-------|---------|-----|-------|---------|-----|---------|
| | 頭数 | DG | 平均価格 | 頭数 | DG | 平均価格 | 頭数 | 平均価格 |
| 宍粟・佐用 | 15 | 1.004 | 593,320 | 8 | 0.903 | 555,450 | 23 | 580,148 |
| 篠山 | 6 | 1.063 | 654,325 | 4 | 0.798 | 462,525 | 10 | 577,605 |
| 丹波 | 28 | 0.977 | 615,225 | 17 | 0.853 | 513,574 | 45 | 576,823 |
| 朝来 | 10 | 0.956 | 629,580 | 6 | 0.840 | 546,525 | 16 | 598,434 |
| 播磨 | 10 | 0.941 | 564,690 | 18 | 0.832 | 494,958 | 28 | 519,863 |
| 美方郡 | 99 | 0.975 | 631,633 | 75 | 0.873 | 575,792 | 174 | 607,564 |
| 豊岡 | 17 | 1.013 | 621,600 | 28 | 0.888 | 558,000 | 45 | 582,027 |
| 養父 | 25 | 1.006 | 645,246 | 25 | 0.914 | 582,960 | 50 | 614,103 |
| 摂津・神戸 | 3 | 1.004 | 632,100 | 1 | 0.846 | 598,500 | 4 | 623,700 |
| 県北C | 3 | 0.953 | 627,550 | 5 | 0.782 | 462,840 | 8 | 524,606 |
| 市場全体 | 216 | 0.984 | 625,017 | 187 | 0.871 | 553,518 | 403 | 591,840 |

12月市種雄牛ランキング

| 順位 | 種雄牛 | 去勢 | | | 雌 | | | 総計 | |
|----|-------|-----|-------|---------|-----|-------|---------|-----|---------|
| | | 頭数 | 平均DG | 平均価格 | 頭数 | 平均DG | 平均価格 | 頭数 | 平均価格 |
| 1 | 芳悠土井 | 49 | 0.995 | 653,721 | 35 | 0.913 | 630,780 | 84 | 644,163 |
| 2 | 丸宮土井 | 17 | 0.988 | 666,132 | 15 | 0.839 | 559,930 | 32 | 616,350 |
| | 総計 | 216 | 0.984 | 625,017 | 187 | 0.871 | 553,518 | 403 | 591,840 |
| 3 | 照忠土井 | 11 | 0.992 | 621,600 | 4 | 0.809 | 489,038 | 15 | 586,250 |
| 4 | 丸富士井 | 43 | 0.954 | 616,790 | 30 | 0.868 | 530,740 | 73 | 581,427 |
| 5 | 芳山土井 | 31 | 0.975 | 616,350 | 25 | 0.845 | 530,712 | 56 | 578,119 |
| 6 | 福芳土井 | 34 | 1.007 | 605,757 | 43 | 0.891 | 550,835 | 77 | 575,086 |
| 7 | 千代藤土井 | 8 | 0.989 | 632,100 | 11 | 0.853 | 514,118 | 19 | 563,795 |
| 8 | 照也土井 | 6 | 0.952 | 583,450 | 4 | 0.798 | 473,025 | 10 | 539,280 |

価格は税込み (10頭以上の出荷があった種雄牛のみ記載)

ランキング種雄牛の育種価

| | 種雄牛 | 枝肉重量 | ロース芯面積 | バラの厚さ | 皮下脂肪厚 | 歩留 | 脂肪交雑 |
|---|-------|----------|--------|-------|-------|------------|-----------|
| 1 | 芳悠土井 | A++ → A+ | A | A+ | B | A | A+++ |
| 2 | 丸宮土井 | B | A → B | A+ | A++ | A++ → A+ | A++ |
| 3 | 照忠土井 | B | A++ | B | A+ | A++ | A+ |
| 4 | 丸富士井 | A | A++ | C | C | A | A++ |
| 5 | 芳山土井 | A++ | A++ | A+++ | D | A+ | A+ → A+++ |
| 6 | 福芳土井 | A++ | B | A++ | C | C | A+ |
| 7 | 千代藤土井 | A → B | A++ | D | A | A+ | A+++ |
| 8 | 照也土井 | B → C | A+++ | C → D | A | A+++ → A++ | A |

北部農業技術センター提供 (育種価評価は平成25年7月現在)

子牛が産まれなきゃ、お金も生まれない！！

～まえおき1～

最近、「種付けが悪くなっているようで・・・。」という声をちよくちよく聞く機会が増えているような気がします。本当に悪くなっているのでしょうか？

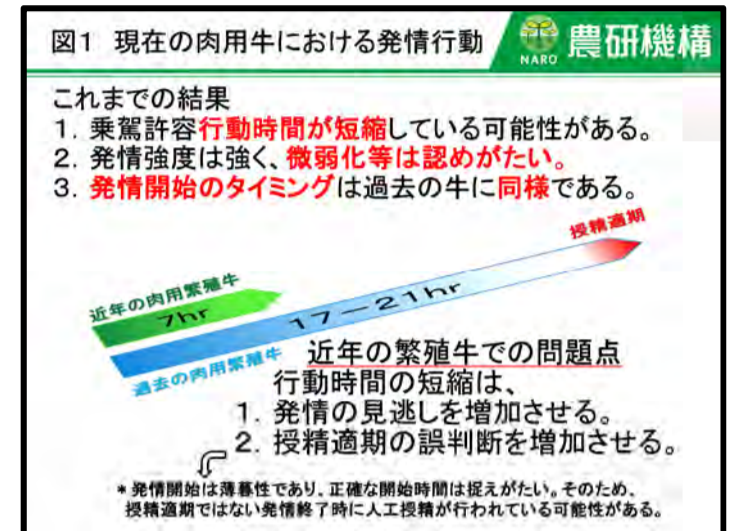
兵庫県における平成19年度の分娩間隔は417日でしたが平成23年度は407日と10日も短縮されています(表1)。と言うことは???。この数値には、種が付かなくて廃用した牛等は計算に含まれていないため、皆さんが話されている「種付けが悪くなっているようで・・・。」が反映されていないかもしれません。

| | 平成19年度 | 平成23年度 |
|-----|--------|--------|
| 兵庫県 | 417 | 407 |

～まえおき2～

研修でおもしろい話を聞いてきました。独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構(以下 農研機構)によると、乳牛では、「海外・国内の一部で発情行動が消失しつつある」。肉用牛では「発情行動がわかりにくくなっている。」ようです。

では、なぜ発情行動がわかりにくくなっているのか?このことについて明確な答えはなく、想像されることとして、近交係数の上昇や、導入・保留牛の産肉性偏重による繁殖能力の低下、繁殖障害の変化と増加、繁殖機能の変化等が考えられます



～まえおき3～

農研機構によると、現在の肉用牛における発情行動の特徴は、図1のとおりです。これによると、発情強度や発情開始のタイミングは変わらないものの、発情行動時間が短縮している可能性が高く、このことが発情の見逃しを増加させているのではないかと考えられています。以前から受胎率低下の一要因として「発情発見率の低下」が言われていますが、発情行動時間の短縮により、さらに「農家の目(観察力)」が重要になってきます。

では、いつ?何回?観察したらよいでしょうか。観察回数は、表2によると最低2回必要(観察作業)です。次に観察時間は、表3によると18:00~6:00の間が一番発情を発見しやすい時間帯のようです。特に、皆さんが休息している時間帯です。

| 観察方法 | 発情発見率 |
|-----------|--------|
| 24時間の連続観察 | 98-100 |
| 1日に3回観察 | 81-91 |
| 1日に2回観察 | 81-90 |
| 一般作業中の観察 | 56 |
| 雄牛の乗駕 | 98-100 |

(Donaldson, 1968, and Williamson et al., 1972)

| 時刻 | 発情を示す割合 |
|-------------|---------|
| 6:00~12:00 | 22% |
| 12:00~18:00 | 10% |
| 18:00~24:00 | 25% |
| 24:00~6:00 | 43% |

| 分娩間隔 | 1日当たりの売上げ |
|------|-----------|
| 407日 | 983円 |
| 365日 | 1,096円 |
| 差額 | 113円 |

*子牛販売価格を40万円と仮定

～分娩間隔長期化による損失～

兵庫県における平成23年度の分娩間隔は、407日です。子牛販売価格を40万円と仮定すると1日当たりの売上げは、約983円(400,000円÷407日)となります。一方、分娩間隔が365日となり、子牛販売価格が40万円とすると1日当たり約1,096円(400,000円÷365日)となり、分娩間隔が長くなればなるほど損をしている(この例の場合、1日113円の損)こととなります。

～付けない「種」は止まらない～

1年1産させるには、妊娠日数を285日、分娩後の子宮回復などに要する日数を50日、発情周期を21日とすると、授精に2回(365日-(285日+50日)=30日→分娩後50日前後と初回授精後21日目)のチャンスがあります。授精のチャンスを生かすためにも、少しでも様子がおかしい母牛は、獣医師や授精師とよく相談し、適切な対応をして下さい。

～暑さによる卵子の消滅～

授精時から受精後7日間にかけて体温が39.5℃以上になると、牛の体温上昇によって卵子に悪影響をおよぼし、受胎率が著しく低下します。また、40.5℃以上では全て不受胎になります。昨今の夏場の暑さを考えると、乳牛で盛んに行われているような暑熱対策が必要になってくるでしょう。

具体的には、扇風機(換気扇??)は勿論、牛舎の屋根を白く塗る、グリーンカーテン、牛体に直接水をかける、牛舎の屋根に散水する、霧状の水を牛舎に散布する等々を検討してみてください。暑熱対策の詳細や事例については、またの機会にお伝えしたいと思います。

(つづく)

| |
|---|
| <p><まとめ></p> <ul style="list-style-type: none"> ○発情発見ための行動観察は、1日に最低2回、もっとも発情発見できるのは18:00~6:00の時間帯です。 ○分娩間隔が長期化すれば、その母牛は毎日損失を出しています!(子牛価格が上昇すれば、損失額も上昇します!) ○1年1産するための発情発見・人工授精のチャンスはたった2回!(分娩後50日前後と初回受精後21日目) ○受精後7日間の体温が39.5℃以上では受胎率が著しく低下!40.5℃以上では全て不受胎!!(暑熱対策の重要性) |
|---|